

第 6 回環境人部会 摘録

日時：平成 25 年 4 月 8 日(月)18：15～20：15

場所：宮前区役所 4 階第 1 会議室



【進行：佐々木部会長】

1 出席確認

出席：佐々木部会長、大村委員、福田委員、森山委員、本郷委員、白井委員、
芒崎委員、浦野委員、藤田委員、直本委員

欠席：黒沢委員

関係者出席：宮前区役所道路公園センター協働推進担当 佐々木担当課長

2 前回会議摘録の確認

別紙配布資料「第 5 回環境人部会」摘録に基づき確認

3 具体的な提案の検討

- ・佐々木部会長から区民会議パンフレットを用いて再度区民会議の役目を確認
- ・佐々木部会長が別冊「環境人部会の具体案宿題シート」の各提案内容について検討のポイントを整理しながら確認。

【検討の留意点】

①矢上川の存在を知ってもらう

- ・現在の矢上川がどうなっているのかを調査し、把握する必要がある
- ・PRをどうすれば良いか。そうすることでどのような結果が得られるか
- ・担い手や対象は誰か

②緑化活動のPR 意識改革

- ・花壇のいたずらに対して、どのような対応策があるか
- ・まちづくり協議会では花や緑の団体に限らず広く市民活動団体への支援を行っている

③「花いっぱいフェスタ」の開催

- ・緑化団体との連携、既存組織との連携をどうするのか

④みやまえ マラソン

- ・道路使用許可の取得、事業費用の確保、スタッフの確保をどうするか

⑤坂道ウォーキング

- ・第 3 期の活動であり、継続性がある。

⑥週 6 日間の公園体操の実施

- ・ 備品の貸し出し制度創出や指導者の育成等を通じて、公園体操を広める。

⑦公園整備（樹木・草花の名札付）

- ・ コミュニティを作るために人を巻き込むにはどうすれば良いか。
- ・ 実施する人が決まっているので、その輪をどう広げていくか。

⑧公園美化推進ボランティア団体の結成

- ・ 宮崎第 4 公園でさまざまな取組が実施されているならばそのノウハウを、広く他の公園に広げていく視点

⑨国道 2 4 6 号線（有馬 3 丁目 マクドナルド付近）斜面緑道整備

- ・ 2 4 6 号線斜面は国有地である。

⑩街路樹を活かしたまちづくり

- ・ 既存の愛護会の活動など、現行制度の活発化、PR により拡大するための方法を見出す。

⑪各中学校区の公園の植生調査

- ・ 植生調査だけでなく、調査した結果がベースになり、他の課題解決につながる。

⑫常設菅生緑地プレイパーク

- ・ 常設型を整備する際の場所、ランニングコスト、設備をどうするか。

⑬平瀬川の水源保全を

- ・ 水源の管轄の問題がある。
- ・ 設備関係が多いので、区民会議でどう実現できるか。

⑭ボランティア団体の拠点にクラブハウスを

- ・ 道路公園センターの許可が得られるか、予算が確保できるか、区民会議で施設整備型の提案を扱えるか。

【主な意見】

④宮前マラソン・⑤坂道ウォーキング

直本：③宮前マラソンと⑤坂道ウォーキングは、第 3 期区民会議提案の継続として位置づけられるので、その動きを見た上で対応する形で、当面保留しても良いのではないか。

⑨国道 246 号線斜面の緑道整備

関係者：・ 246 号は国有地であり、川崎市が緑道を整備することはできない

- ・斜面が急で管理が難しく、緩やかにするには法面が道路にはみ出す
- ・土留めは3mの擁壁に更に圧迫感が出て、景観的にも良くない
- ・道路予定地などの市有地は、昨年度から緑化活動場所として花壇等の利用を認めている。

佐々木：場所により、対応が違ってくる。川崎市の区民会議なので、市の土地ならやりようがあるのではないか。道路周辺の未利用地を花壇等にして環境が良くなると良い。

⇒国道246号と特定せず、道路周辺の未利用地有効活用とする。

⑫常設菅生緑地プレイパーク

佐々木：施設整備型の提案であり、区民会議の提案には合わないのでは。

関係者：宮前区では、第2期区民会議の提案を受けて“冒険遊び場”として外遊びを推進している。また、川崎市内はどこにも常設型のプレイパークは無く、類似の子どもが遊ぶ施設として高津区に夢パークがあるだけ。

大村：羽根木のようにNPOを立上げ、監視する人が常にいる遊び場ができるとう良い。“冒険遊び場”の集約型として、常設のものが出来ると良い。

福田：羽根木公園を視察してはどうか。

事務局：第2期の“冒険遊び場”の提案を受け、担い手を育成するという方針で活動が続けている。地道な活動の中で担い手が育ち、浸透した後で更なる活用方法の1つとして常設化という話があるのではないか

直本：現時点で取り組むのは難しい。将来的には理想としてそういった場所が区内にあっても良い。将来への夢を残しながら、現在のノウハウを活かせるのかを検討してはどうか。

⇒“冒険遊び場”を拡充し担い手を育てる中で、将来的に常設化の可能性を探る。

⑬平瀬川の水源保全を

本郷：7区交流会で市長が話した「区の特徴を掘り下げる」という趣旨に合わせて提案した。区内には平瀬川の水源と矢上川があるが、水が減ってきている。平瀬川まちづくりの会のメンバーで30年間保全に取り組んできたが、今後は、宮前区のテーマとして水の保全を取上げ、区民全員で応援してもらいたい。今すぐどうにかしようということではない。

佐々木：雨水浸透升の設置は施設整備型の提案であり、区民会議の提案には合わないのではないか。

⇒雨水浸透升の設置ではなく、水源・河川の保全として検討する。

⑭ボランティア団体の拠点にクラブハウスを

佐々木:施設整備型の提案であり、区民会議の提案には合わないのではないか。
⇒議論経過としては残すが区民会議提案として取上げるのは難しい。

以上の意見を参考に、次回部会で第4期に取り組む課題を3つ程度にグループ化し絞り込んでいくことを確認。全てに手をつけるのは難しいため、3つに絞り込んだ後、どれを4期で取り扱うか検討する。それ以外は議論の経過として引き継いでいく。

4 第5回区民会議全体会（5月15日）での報告内容について

本日の意見を参考に事務局が整理し、3つ程度のテーマの括りに集約する。事務局の集約案をもとに、検討経過を報告する。なお、事務局が集約したものを事前に委員に送付し、内容を確認する。

佐々木:課題が重なる提言がたくさんある。課題をベースに括ると整理できる。

5 みやまえ探検！発見！ウォークラリー トークラリーの感想等

別紙の記載内容を、各委員が報告

6 今後の日程

第7回 6月4日（火）18：15～ 区役所4階第1会議室